

報告事項才

国史跡妻木晩田遺跡の発掘調査について

国史跡妻木晩田遺跡の発掘調査の成果について、別紙のとおり報告します。

平成30年1月25日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

# 国史跡妻木晩田遺跡の発掘調査について

平成30年1月25日  
文化財課

## 1 発掘調査概要

- (1) 調査地 まつおがしら松尾頭10区(図1・2) ※松尾頭地区は有力者の居住域と想定される地区
- (2) 調査面積 600㎡
- (3) 調査期間 平成29年8月23日～12月7日
- (4) 調査目的 ①集落衰退期である弥生時代終末期(3世紀前半)の首長墓の実態解明  
②集落における居住域から墓域への変遷過程の解明  
→上記①②の目的を達成するため、同地区を平成29～30年度の2カ年で調査

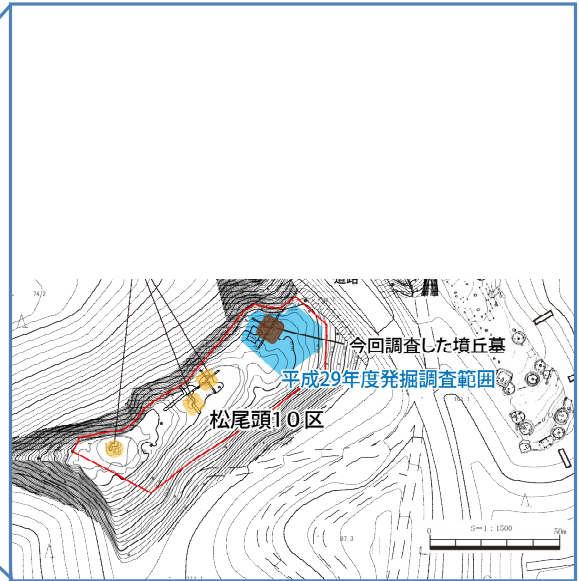
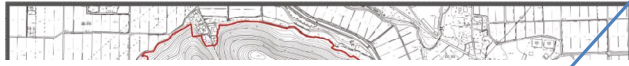
## 2 発掘調査成果

### 松尾頭地区で3基目となる墳丘墓を新たに発見

- (1) ふんきゆうぼ墳丘墓とは墳丘(盛り土などによって築造された小高い丘)をもつ墓。弥生時代には限られた有力者層が埋葬された。
- (2) 墳丘墓の形態は方形。墳丘の外周には区画溝が掘られる(図3)。  
過去の発掘調査(ゴルフ場開発に伴う第1次発掘調査:平成7～10年)で見つかった松尾頭地区の2基の墳丘墓と同じ形態(位置関係は図2のとおり)。  
※今回の発見で、妻木晩田遺跡の墳丘墓は37基となった。
- (3) 墳丘の規模は南北辺約8m、東西辺約7m。高さは最大で1.25m。
- (4) 築造時期は、弥生時代終末期(3世紀前半)。出土した土器の特徴から、松尾頭地区の墳丘墓の中で最も古い可能性がある。
- (5) 墳丘墓周囲の溝から弥生土器や鉄製のやじり鍬が出土。
- (6) 墳丘頂部に木棺の存在を示す凹み(木棺が腐って陥没したことで生じた凹み)もっかんを1カ所検出。埋葬施設は調査方法等を検討中のため未調査。

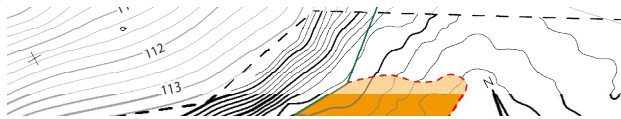
## 3 一般公開等

- (1) 現地説明会 平成29年11月18日(土) 参加者35名  
※荒天のため現地公開中止。「弥生の館むきばんだ」体験学習室においてスライド等による解説及び出土品の見学。
- (2) その他 発掘調査成果の写真パネル等を企画展示室で展示するとともに、ショッピングセンター等でも巡回展示(2月上旬～4月初旬)。



▲ 図1 発掘調査位置

▲ 図2 松尾頭10区位置



◀ 図3 墳丘墓平面図（概略図）

↑  
写真撮影方向

▼ 写真 墳丘墓全景（南から撮影）

